

補助事業番号 20-01-094

補助事業名 平成20年度 青少年の健全育成 補助事業

補助事業者名 社団法人 日本将棋連盟

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本古来の伝統文化である将棋を通じて、青少年の健全育成を図るとともに将棋の普及発展を目指し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容等

文部科学大臣杯第4回小・中学校将棋団体戦の開催

- ・ 内容：日本の伝統文化である将棋を通じて児童・青少年の健全育成と将棋普及を図るため、県代表チームによる学校対抗戦を行い交流の場を作る。チームは小学生・中学生とも同じ学校に通う生徒3名で編成。小学生同士・中学生同士で対戦する。
- ・ 開催日：東日本大会 平成20年7月30日（木）
西日本大会 平成20年7月31日（金）
決勝大会 平成20年8月11日（月）
- ・ 場所：東日本大会：東京スポーツ文化会館
西日本大会：ホテル大阪ベイタワー
決勝大会：東京国際フォーラム
- ・ 参加対象者：小学校代表64チーム・中学校代表64チームをそれぞれ東西に分け、32チームづつとする（複数チームの出場地域あり、1チームは小学生3名または中学生3名）
- ・ 結果
小学校の部
優勝：松山市立双葉小学校（愛媛県）
準優勝：天童市立天童北部小学校（山形県）
3位：浦和ルーテル学院小学校（埼玉県）
4位：明石市立江井島小学校（兵庫県）
中学校の部
優勝：淳心学院中学校（兵庫県）
準優勝：横浜市立富岡東中学校（神奈川県）
3位：灘中学校（兵庫県）
4位：伊那市立伊那中学校（長野県）

2. 予想される事業実施効果

人生において最も多感な年代である小・中学生において、地域の代表として全国大会に出場したという事は誠に得難く、大変貴重な経験であったと考えられます。また、団体戦という競技は個人戦とは異なり、チームの和を重視して戦うた

め、個々がチームのために頑張ることが必然になり、結果チーム内の仲間意識が強く結ばれることとなります。

このような体験を通して各自が大きな自信を得ることにより、今後の将棋活動に多様性を与え将棋を通じた交友関係に大いに役立ち、延いては将棋の普及活動に参画し、愛好家の拡大と伝統文化の継承者育成に寄与することが期待されます。

3. 本事業により作成した印刷物

文部科学大臣杯第4回小・中学校将棋団体戦パンフレット

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名： 社団法人 ニホンショウギレンメイ

住所： 151-8516

東京都港区赤坂1-9-15

代表者名： 会長 米長 邦雄（ヨネナガ クニオ）

担当部署： 普及推進部普及開発課（フキュウスイシンブフキュウカイハツカ）

担当者名： 参与 村山 美保子（ムラヤマ ミホコ）

電話番号： 03-3408-6165

F A X： 03-3404-7301

E-mail： info@shogi.or.jp

U R L： <http://www.shogi.or.jp>